

Windows 版 SAS システムリリース 6.12 (TS020, DBCS2716) システム必要条件

ソフトウェア必要条件

Windows[®] 版 SAS[®] システムリリース 6.12 (TS020, DBCS2716)は、Windows[®] 3.1, Windows 95, Windows NT[™] の各オペレーティングシステム上で動作します。

オペレーティングシステム	1. Windows 3.1 *1 DOS 5.0 以降 Microsoft Win32s 日本語版 Version 1.30.166 以降 (Win32s 日本語版 1.30.166 は SAS のインストールメディアで提供して います) 2. Windows 95 *2 3. Windows NT Version 3.51, 4.0
--------------	---

*1 DOS の SHARE.EXE を使用している場合は、パラメータを次のように設定してください。

SHARE.EXE /L:500 /F:5100

*2 **OSR(OEM Service Release)2.1 版 Windows95** を使用している場合は、別途対応モジュールを適用する必要があります。詳しくは別紙「使用上の注意点 (Alert Notes)」をご覧ください。

ハードウェア必要条件

サポートするマシン	Intel または Intel 互換の 80386 33MHz 以上のプロセッサを搭載したマシン 推奨 : Pentium 90MHz 以上 *3
提供媒体の形式	CD-ROM (フロッピーディスクによる提供は行っておりません)
数値演算コプロセッサ	必須ではありませんが、ご使用を強くおすすめします
メモリ容量	1. Windows 3.1 最小 : 8MB 推奨 : 16MB 以上 2. Windows 95 最小 : 16MB 推奨 : 32MB 以上 3. Windows NT 最小 : 16MB 推奨 : 32MB 以上
スワップ容量	Base SAS : 15MB 以上 SAS/AF, SAS/EIS を使用する場合 : 25MB 以上
ディスク容量	別表を参照
モニタ	VGA, 8514, XGA, SVGA 相当
マウス	必須

*3: RISC ベースのプロセッサ(MIPS R シリーズおよび Alpha AXP, PowerPC)用の Windows NT 上では動作しません。

プロダクト単位必要ディスク容量

ソフトウェアプロダクト	必要容量(Mバイト)
Base SAS ソフトウェア (必須)	16.9
Core SAS (必須)	64.7
DBCS サポートファイル (必須)	15.4
日本語サポートファイル (必須) *1	126.4
SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース	0.1
SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース	0.6
SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インタフェース	1.0
SAS/ACCESS ソフトウェア SYBASE and SQL Server インタフェース	0.4
SAS/AF ソフトウェア	1.1
SAS/ASSIST ソフトウェア	8.0
SAS/CALC ソフトウェア	2.6
SAS/CONNECT ソフトウェア	1.9
SAS/EIS ソフトウェア	29.2
SAS/ETS ソフトウェア	11.2
SAS/FSP ソフトウェア	0.4
SAS/GRAPH ソフトウェア	17.3
SAS/GRAPH マップデータセット	40.8
SAS/IML ソフトウェア *2	2.9
SAS/INSIGHT ソフトウェア	2.8
SAS/LAB ソフトウェア	3.9
SAS/MDDDB Server ソフトウェア	0.1
SAS/OR ソフトウェア	19.3
SAS/QC ソフトウェア *2	10.2
SAS/SHARE ソフトウェア	0.4
SAS/SPECTRAVIEW ソフトウェア *2	12.5
SAS/STAT ソフトウェア	11.4
SAS/TOOLKIT ソフトウェア	2.7
SAS/TUTOR ソフトウェア (CBT コース 101)	4.1
SAS/TUTOR ソフトウェア (CBT コース 102)	2.2
SAS/TUTOR ソフトウェア (CBT コース 103)	2.0
SAS/TUTOR ソフトウェア (CBT コース 104) *2	2.2
SAS/TUTOR ソフトウェア (CBT コース 105) *2	3.7
SAS/TUTOR ソフトウェア (CBT コース 106) *2	2.1
SAS/Warehouse Administrator ソフトウェア	4.1
SAS Notes *3	15.2
Microsoft Win32s 日本語版 *4	3.7

Microsoft Video for Windows 日本語版 *4	1.5
SAS ODBC Driver	1.8

*1 : WinHelp ファイル、SAS/GRAPH 日本地図データセット、SAS/GRAPH 日本語フォントを含みます。

*2 : SAS/IML、SAS/QC、SAS/SPECTRAVIEW ソフトウェアおよび SAS/TUTOR ソフトウェア(CBT コース 104,105,106)は、英語版を提供しています。

*3 : SAS Notes 情報は英語で記載されています。

*4 : Windows 3.1 環境で使用する場合にのみ必要です。

各プロダクトご利用の際の必要条件

SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース

- ・ 必須プロダクト
Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インタフェース
- ・ その他必要な製品
アクセスするデータの ODBC ドライバが必要です。このドライバは DBMS ベンダやサードパーティーから提供されます。ドライバによってはさらに DBMS 関連ソフトウェアが必要になります。
Windows 95 または Windows NT 上では **32bit ODBC ドライバ**が必要です(16bit ODBC ドライバはご利用できません)。

SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース

- ・ 必須プロダクト
Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェース
- ・ サポートするオペレーティングシステム
SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インタフェースは、**Windows 95 または Windows NT 上で動作します。**
- ・ サポートする ORACLE のバージョン
ORACLE for Windows 95 Required Support Files, **Version 7.2, 7.3** および
ORACLE for Windows NT Required Support Files, **Version 7.0, 7.1, 7.2, 7.3** をサポートしています。

また、SAS システムと ORACLE Server が異なるマシン上にある場合には、Windows 95 または Windows NT クライアント上に ORACLE SQL*Net for Windows 95(NT)が必要です。

サポートしている SQL*Net のバージョンは次のとおりです。

ORACLE SQL*Net for **Windows NT, Version 1** を使用する場合には、次のバージョンの組み合わせをサポートしています。

1. ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.0 (Version 7.0.15.5.2A の使用をおすすめします) と
ORACLE for Windows NT SQL*Net for TCP/IP, Version 1.1 (Version 1.1.6.5 の使用をおすすめします) または
ORACLE for Windows NT SQL*Net for Named Pipes, Version 1.1 (Version 1.1.1.7 の使用をおすすめします)
2. ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.1 (Version 7.1.3.3.6 の使用をおすすめします) と
ORACLE for Windows NT SQL*Net for TCP/IP, Version 1.1 (Version 1.1.6.8 の使用をおすすめします) または
ORACLE for Windows NT SQL*Net for Named Pipes, Version 1.1 (Version 1.1.1.8 の使用をおすすめします)
3. ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.2 (Version 7.2.2.4.0 の使用をおすすめします) と
ORACLE for Windows NT SQL*Net for TCP/IP, Version 1.1 (Version 1.1.6.9.0 の使用をおすすめします) または
ORACLE for Windows NT SQL*Net for Named Pipes, Version 1.1 (Version 1.1.1.8.0 の使用をおすすめします)

ORACLE SQL*Net for **Windows NT, Version 2** を使用する場合には、次のバージョンの組み合わせをサポートしています。

1. ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.1 (Version 7.1.3.3.6 の使用をおすすめ

- めします) と
 ORACLE for Windows NT SQL*Net , Version 2.1 (Version 2.1.3.0.0 の使用をおすすめします)と
 ORACLE for Windows NT TCP/IP Protocol Adapter, Version 2.1 (Version 2.1.3.0.0 の使用をお
 すすめします) または
 ORACLE for Windows NT Named Pipes Protocol Adapter, Version 2.1 (Version 2.1.3.0.0 の使用
 をおすすめします)
2. ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.2 (Version 7.2.2.4.0 の使用をおすす
 めします) と
 ORACLE for Windows NT SQL*Net , Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0 の使用をおすすめします)と
 ORACLE for Windows NT TCP/IP Protocol Adapter, Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0 の使用をお
 すすめします) または
 ORACLE for Windows NT Named Pipes Protocol Adapter, Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0 の使用
 をおすすめします) または
 ORACLE for Windows NT IPX/SPX Protocol Adapter, Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0 の使用をお
 すすめします)
3. ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.3 (Version 7.3.2.2.0C の使用をおすす
 めします) と
 ORACLE for Windows NT SQL*Net , Version 2.3 (Version 2.3.2.1.6 の使用をおすすめします)と
 ORACLE for Windows NT TCP/IP Protocol Adapter, Version 2.3 (Version 2.3.2.1.4 の使用をお
 すすめします) または
 ORACLE for Windows NT Named Pipes Protocol Adapter, Version 2.3 (Version 2.3.2.1.4 の使用
 をおすすめします) または
 ORACLE for Windows NT IPX/SPX Protocol Adapter, Version 2.3 (Version 2.3.2.1.5 の使用をお
 すすめします)

ORACLE SQL*Net for **Windows 95, Version 1** を使用する場合には、次のバージョンの組み合わせを
 サポートしています。

1. ORACLE for Windows 95 Required Support Files, Version 7.2 (Version 7.2.2.3.1 の使用をおすす
 めします) と
 ORACLE for Windows 95 SQL*Net for TCP/IP, Version 1.1 (Version 1.1.6.9.0 の使用をおすす
 めします)

ORACLE SQL*Net for **Windows 95, Version 2** を使用する場合には、次のバージョンの組み合わせを
 サポートしています。

1. ORACLE for Windows 95 Required Support Files, Version 7.2 (Version 7.2.2.3.1 の使用をおすす
 めします) と
 ORACLE for Windows 95 SQL*Net , Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0A の使用をおすすめします)と
 ORACLE for Windows 95 TCP/IP Protocol Adapter, Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0 の使用をお
 すすめします) または
 ORACLE for Windows 95 Named Pipes Protocol Adapter, Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0 の使用
 をおすすめします) または
 ORACLE for Windows 95 IPX/SPX Protocol Adapter, Version 2.2 (Version 2.2.2.1.0 の使用をお
 すすめします)
2. ORACLE for Windows 95 Required Support Files, Version 7.3 (Version 7.3.2.2.0C の使用をおすす
 めします) と
 ORACLE for Windows 95 SQL*Net , Version 2.3 (Version 2.3.2.1.6 の使用をおすすめします)と
 ORACLE for Windows 95 TCP/IP Protocol Adapter, Version 2.3 (Version 2.3.2.1.4 の使用をお
 すすめします) または
 ORACLE for Windows 95 Named Pipes Protocol Adapter, Version 2.3 (Version 2.3.2.1.4 の使用
 をおすすめします) または

ORACLE for Windows 95 IPX/SPX Protocol Adapter, Version 2.3 (Version 2.3.2.1.5 の使用をおすすめします)

Windows 95 または Windows NT クライアントに、ORACLE Required Support Files をインストールした際に、次の DLL ファイルが Windows 95 の system ディレクトリ、Windows NT の system32 ディレクトリや他のサーチパスにインストールされている必要があります。

(これらの DLL ファイルは、通常、ORACLE Required Support Files をインストールした際に ¥ORAWIN95¥BIN または ¥ORANT¥BIN ディレクトリにインストールされます。)

ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.0 をインストールした場合には、次の DLL ファイルが必要です。

ORA7NT.DLL, CORENT.DLL, KGNT.DLL, SQL15NT.DLL

ORACLE for Windows NT Required Support Files, Version 7.1 をインストールした場合には、次の DLL ファイルが必要です。

ORANT71.DLL, CORENT23.DLL, KGNT71.DLL, SQL16NT.DLL

ORACLE for Windows 95(NT) Required Support Files, Version 7.2 をインストールした場合には、次の DLL ファイルが必要です。

ORA72.DLL, CORE34.DLL, CORE34O.DLL, KG72.DLL, SQLLIB17.DLL

ORACLE for Windows 95(NT) Required Support Files, Version 7.3 をインストールした場合には、次の DLL ファイルが必要です。

ORA73.DLL, CORE35.DLL, CORE35O.DLL, KG73.DLL, SQLLIB18.DLL

SAS/ACCESS ソフトウェア SYBASE and SQL Server インタフェース

- ・ 必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア SYBASE and SQL Server インタフェース

- ・ サポートする SQL Server のバージョン

SYBASE および Microsoft SQL Server の全バージョンをサポートしています。

また、SAS システムと SQL Server が異なるマシン上にある場合には、ご使用のオペレーティングシステムに応じて次のいずれかのクライアントソフトウェアが必要です。

Windows 3.1+Win32s

Microsoft SQL Server Client 4.20.50 以降

SYBASE Open Client Release 4.20.50 または 10.03 以降

Windows 95

Microsoft SQL Server Client 6.0 以降

SYBASE Open Client Release 10.03 以降

Windows NT

Microsoft SQL Server Client 4.20.50 以降

SYBASE Open Client Release 10.02 以降

SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インタフェース

- ・ 必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インタフェース

- ・ サポートするファイル形式およびバージョン

DBF ファイル(dBASE 他)

dBASE , , PLUS, , で作成された DBF ファイル、および他のソフトウェアで作成された DBF ファイル

DIF ファイル(Lotus 1-2-3 他)

XLS ファイル (Excel)

Excel 4,5,95 で作成された XLS ファイル

(注 Excel 97 形式のファイルはサポートされていません。Excel 97 のファイルを入力する場合は以前のリリースと互換のファイル形式で保存し直す必要があります。)

WKn ファイル(Lotus 1-2-3)

WK1,WK3,WK4 ファイル

SAS/AF ソフトウェア FRAME エントリ

次のプロダクトが必要です。

・アプリケーション作成時

Base SAS ソフトウェア、SAS/AF ソフトウェア

SAS/GRAPH ソフトウェアの機能を使用する場合

SAS/GRAPH ソフトウェア

SAS/FSP ソフトウェアの機能を使用する場合

SAS/FSP ソフトウェア

アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。

・アプリケーション実行時

Base SAS ソフトウェア

SAS/GRAPH ソフトウェアの機能を使用する場合

SAS/GRAPH ソフトウェア

SAS/FSP ソフトウェアの機能を使用する場合

SAS/FSP ソフトウェア

アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。

SAS/AF ソフトウェア ビデオ再生オブジェクト

・メモリ

推奨 : 16MB 以上

・ハードウェア

ハードディスク : 500MB 以上

スクリーン解像度 : 640x480 以上

C P U : i486DX2 66 MHz 以上

サウンドブラスター互換オーディオボード

外付けスピーカー

MCI Microsoft Video for Windows ドライバ

Intel Indeo 3.1,3.2 ドライバ

最小 256 色のビデオボード (65K,16.7M 色推奨)

MPEG ファイルを再生する場合、MCI 準拠 MPEG ボードが必要

(Reelmagic-type MPEG ボード推奨)

Base SAS ソフトウェア ビデオ再生

Base SAS ソフトウェアのビデオ再生機能により映像ファイルを再生することができます。ビデオ再生オブジェクト(クラス)は、SAS/AF ソフトウェアの一部ですが、ビデオ再生機能自体は Base SAS ソフトウェアに含まれていません。

- ・メモリ

推奨 : 16MB 以上

- ・ハードウェア

ハードディスク : 500MB 以上

スクリーン解像度 : 640x480 以上

C P U : i486DX2 66 MHz 以上

サウンドブラスター互換オーディオボード

外付けスピーカー

MCI Microsoft Video for Windows ドライバ

Intel Indeo 3.1,3.2 ドライバ

最小 256 色のビデオボード (65K,16.7M 色推奨)

MPEG ファイルを再生する場合、MCI 準拠 MPEG ボードが必要
(Realmagic-type MPEG ボード推奨)

SAS/ASSIST ソフトウェア

- ・メモリ

最小 : 12MB 推奨 : 16MB 以上

SAS/CONNECT ソフトウェア

- ・ APPC アクセス方式

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinAPPC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアが、米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。

Windows 3.1 + Win32s

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)

Windows 95

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)

Windows NT

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)

- ・ CPIC アクセス方式

CPI-C 2.0 インタフェース仕様もしくは Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinCPIC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアが、米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。

Windows 3.1 + Win32s

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack1)
- ・ Wall Data Rumba APPC エンジン, Version 2.0 (メンテナンスモジュール ZB0APC10 適用版)

Windows 95

サポートしていません。

Windows NT

サポートしていません。

• DECnet アクセス方式

次のソフトウェアが必要です。

Windows 3.1 + Win32s

- DEC Pathworks for DOS and Windows, Version 5.1 以降
(米国 SAS Institute Inc.により動作確認されています。)

Windows 95

サポートしていません。

Windows NT

- DEC Pathworks for Windows NT, Version 4.1B
(米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。)

• EHLLAPI アクセス方式

次のいずれかのソフトウェアが必要です。

Windows 3.1 + Win32s

- Attachmate EXTRA for Windows, Version 4.3 以降
- IBM Personal Communications/3270, Version 4.0 以降
- Wall Data Rumba, Version 3.1 以降
- その他、EHLLAPI または WinHLLAPI に準拠したネットワークソフトウェア

Windows 95

- Wall Data Rumba 95/NT Version 5.0 以降
- Attachmate EXTRA Personal Client, Version 6.0 以降
- その他、EHLLAPI または WinHLLAPI に準拠した Windows 95 (32bit)用ネットワークソフトウェア

Windows NT

- Wall Data Rumba 95/NT Version 5.0 以降
- Attachmate EXTRA Personal Client, Version 6.0 以降
- その他、EHLLAPI または WinHLLAPI に準拠した Windows NT (32bit)用ネットワークソフトウェア

• NETBIOS アクセス方式

IBM 互換 NetBIOS に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

Windows 3.1 + Win32s

次のソフトウェアが、米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。

- IBM LAN Support Program
- Novell Netware Requestor for DOS

Windows 95

Windows 95 に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。

Windows NT

Windows NT に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。

• SPX アクセス方式

Windows 3.1 + Win32s

サポートしていません。

Windows 95

Windows 95 に標準でバンドルされている IPX/SPX 互換プロトコルをサポートしています。

Windows NT

Windows NT に標準でバンドルされている IPX/SPX 互換プロトコルをサポートしています。

• Telnet および TCP/IP アクセス方式

Windows 3.1 + Win32s

WinSock API, Version 1.1 以降に準拠した TCP/IP ネットワークソフトウェアが必要です。

注意：アプリケーションによっては、WinSock API, Version 1.1 以降に準拠したものでも動作しない場合があります。弊社で動作確認したソフトウェアにつきましては、別紙 1「SAS/CONNECT、SAS/SHARE ソフトウェア動作確認済みアプリケーション一覧」をご覧ください。

Windows 95

Windows 95 に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

Windows NT

Windows NT に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

上記通信ソフトウェア以外でご使用になられる場合には、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

SAS/EIS ソフトウェア

次の各プロダクトが必要です。

・アプリケーション作成時

Base SASソフトウェア、SAS/AFソフトウェア、SAS/FSPソフトウェア、SAS/GRAPHソフトウェア、SAS/EISソフトウェア

(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

・アプリケーション実行時

Base SASソフトウェア、SAS/GRAPHソフトウェア、SAS/EISソフトウェア

(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

・メモリ

最小：24MB 推奨：32MB 以上

SAS/ETS ソフトウェア 時系列予測メニューシステム

・必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/ETSソフトウェア、SAS/GRAPHソフトウェア

(データの内容確認、修正用に SAS/FSP ソフトウェアのご利用をおすすめします。)

SAS/GRAPH ソフトウェア ビデオエクステンション

・メモリ

推奨：16MB 以上

・ハードウェア

ハードディスク：500MB 以上

スクリーン解像度：800x600 以上

C P U：i486DX2 66 MHz 以上

サウンドブラスター互換オーディオボード

外付けスピーカー

MCI Microsoft Video for Windows ドライバ

Intel Indeo 3.1,3.2 ドライバ

最小 256 色のビデオボード (65K,16.7M 色推奨)

MPEG ファイルを再生する場合、MCI 準拠 MPEG ボードが必要

(Reelmagic-type MPEG ボード推奨)

SAS/LAB ソフトウェア

・必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/GRAPH ソフトウェア、SAS/LAB ソフトウェア
(データの内容確認、修正用に SAS/FSP ソフトウェアのご利用をおすすめします。)

SAS/MDDDB Server ソフトウェア

必要メモリは、生成される階層の複雑さ(次元の数)に依存します。例えば、8MB のメモリを搭載しているマシンの場合、単純な階層の MDDDB であれば作成できますが、階層が複雑になるほど必要メモリは増加します。

SAS/SHARE ソフトウェア

・ **APPC アクセス方式**

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinAPPC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアが、米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。

Windows 3.1 + Win32s

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack1)

Windows 95

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack1)

Windows NT

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack1)

・ **CPIC アクセス方式**

CPI-C 2.0 インタフェース仕様もしくは Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格である WinCPIC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアが、米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。

注意 : OPERATE プロシジャを使用して動作確認されていますが、SERVER プロシジャの使用による動作確認はされていません。

Windows 3.1 + Win32s

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack1)
- ・ Wall Data Rumba APPC エンジン, Version 2.0 (メンテナンスモジュール ZB0APC10 適用版)

Windows 95

サポートしていません。

Windows NT

サポートしていません。

・ **DECnet アクセス方式**

次のソフトウェアが必要です。

Windows 3.1 + Win32s

- ・ DEC Pathworks for DOS and Windows, Version 5.1 以降
(米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。)

Windows 95

サポートしていません。

Windows NT

- ・ DEC Pathworks for Windows NT, Version 4.1B
(米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。)

・ **NETBIOS アクセス方式**

IBM 互換 NetBIOS に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

Windows 3.1 + Win32s

次のソフトウェアが、米国 SAS Institute, Inc.により動作確認されています。

- ・ IBM LAN Support Program
- ・ Novell Netware Requestor for DOS

Windows 95

Windows 95 に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。

Windows NT

Windows NT に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。

・ SPX アクセス方式

Windows 3.1 + Win32s

サポートしていません。

Windows 95

Windows 95 に標準でバンドルされている IPX/SPX 互換プロトコルをサポートしています。

Windows NT

Windows NT に標準でバンドルされている IPX/SPX 互換プロトコルをサポートしています。

・ Telnet および TCP/IP アクセス方式

Windows 3.1 + Win32s

WinSock API, Version 1.1 以降に準拠した TCP/IP ネットワークソフトウェアが必要です。

注意：アプリケーションによっては、WinSock API, Version 1.1 以降に準拠したもので動作しない場合があります。弊社で動作確認したソフトウェアにつきましては、別紙 1「SAS/CONNECT、SAS/SHARE ソフトウェア動作確認済みアプリケーション一覧」をご覧ください。

Windows 95

Windows 95 に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

Windows NT

Windows NT に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

上記通信ソフトウェア以外でご使用になられる場合には、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

SAS/SPECTRAVIEW ソフトウェア

・ メモリ

最小：12MB 推奨：16MB 以上

・ ハードウェア

スクリーン解像度：800x600 以上

最小 256 色のビデオボード

SAS/Warehouse Administrator ソフトウェア

次の各プロダクトが必要です。

・ アプリケーション作成時

Base SAS ソフトウェア、SAS/AF ソフトウェア、SAS/FSP ソフトウェア、SAS/Warehouse Administrator ソフトウェア

(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

・ アプリケーション実行時

Base SAS ソフトウェア、SAS/FSP ソフトウェア、SAS/Warehouse Administrator ソフトウェア
(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)

その他の機能について

・ SAS システムビューワ

SAS システムビューワは、SAS データセットの内容や SAS カタログのエントリー一覧などを表示するためのアプリケーションです。SAS システムビューワは、Windows 版 SAS システムとは別個のアプリケーションでマシンに SAS システムがインストールされていなくても使用できます。

SAS システムビューワは、Windows 95, Windows NT 上でのみ使用できます (Windows 3.1 上では使用できません)。

次の SAS システムのファイルを表示できます。

- ・ リリース 6.04 以降の DOS 版、Windows 版、OS/2 版 SAS システムにより作成された SAS データセット (圧縮または暗号化されていても読むことができます)。
- ・ Windows 版、OS/2 版 SAS システムにより作成された SAS カタログ。
- ・ SAS プログラム(.sas ファイル), OUTPUT ファイル(.lst ファイル), LOG ファイル(.log ファイル), テキストファイル(.txt ファイル), RTF(Rich Text Format)ファイル(.rtf ファイル)。
- ・ JMP ソフトウェアにより作成されたファイル(.JMP データファイル)。

また、ローカルの Windows マシンに SAS/CONNECT ソフトウェアがインストールされていれば、VMS, Macintosh, UNIX, OS/2, Windows, DOS の各プラットフォーム版 SAS システムで作成された SAS データセットや SAS カタログを HTTP や FTP プロトコルを利用してネットワーク経由で表示することもできます (漢字コードの変換もサポートしています)。

SAS システムビューワをインストールするには、1MB のディスク容量と Microsoft ランタイムライブラリ用にさらに 1.1MB のディスク容量が必要です。SAS システムビューワは、インストールメディア(CD-ROM)の ¥SASVIEW¥DISK1¥SETUP.EXE を実行することによりインストールできます。

SAS システムビューワに関する詳細は、CD-ROM の ¥SASVIEW¥DISK1¥README.WRI ファイルまたは SAS システムビューワの[ヘルプ]メニューをご覧ください。

・ ODBC(Open DataBase Connectivity)

Windows 版 SAS システムは、16bit と 32bit の ODBC ドライバを提供します。これらの ODBC ドライバを用いて、ODBC に準拠した他の Windows アプリケーションからローカルマシンまたはリモートマシン上の SAS データセットを表示、更新することができます。また、DB2/2 などの他のデータベーステーブルにアクセスするために作成された SAS データビューを表示することもできます(この場合は更新はできません)。これら ODBC サーバとしての機能は、Base SAS ソフトウェアに含まれます。

また、ODBC ドライバを用いてリモートマシンの SAS データセットまたは SAS データビューにアクセスするためには、リモートマシン上の SAS システムに Base SAS ソフトウェア、SAS/SHARE ソフトウェアと SAS/SHARE*NET ソフトウェアのライセンスが必要です。

・ DDE (Dynamic Data Exchange)

DDE(Dynamic Data Exchange)機能を用いて SAS システムと他の DDE をサポートするアプリケーションとの間でデータをやり取りすることができます。SAS システムは、**DDE クライアントとしてのみ**実行することができます。本機能は、Base SAS ソフトウェアに含まれます。

・ OLE (Object Linking and Embedding) 2.0

SAS/AF ソフトウェアと SAS/EIS ソフトウェアで OLE 2.0 の次の機能をサポートしています。

- ・ 埋め込みオブジェクト・リンクオブジェクトの利用
- ・ SCL プログラムによる他の OLE オートメーションサーバ対応アプリケーションのコントロール

- ・ OLE コントロール(OCX)の利用
- ・ ビジュアル編集(インプレイス編集)
- ・ OLE オブジェクトのドラッグ&ドロップ

また、SAS システムは OLE オートメーションサーバにも対応していますので、Microsoft Visual Basic などの OLE オートメーションコントローラから SAS システムをコントロールすることができます。OLE オートメーションサーバの機能は、Base SAS ソフトウェアに含まれます。

・ 電子メール機能

DATA ステップや SCL プログラムを用いて電子メールを送信することができます。本機能は、Base SAS ソフトウェアに含まれます。

電子メール機能を利用するためには、Microsoft Exchange や Microsoft Mail 3.2 以降、Lotus cc:Mail 2.01 以降、Lotus Notes 3.0 以降などの MAPI(Messaging API)または VIM(Vendor Independent Messaging)に準拠した製品がインストールされている必要があります。

また、Windows 95、Windows NT 上では SMTP を使用する電子メールもサポートしています(評価版)。

・ Lotus Notes アクセス

Lotus Notes アクセス方式(NOTESDB)を用いて、SAS システムから直接 Lotus Notes データベースに情報を追加することができます。本機能は、Base SAS ソフトウェアに含まれます。

Lotus Notes アクセス方式を利用するためには、クライアントマシンに Lotus Notes クライアントがインストールされている必要があります。また、サポートしている Lotus Notes のバージョンはつぎのとおりです。

Windows 3.1 + Win32s

Lotus Notes 3.3x

Lotus Notes 4.0 (16bit 版)

Windows 95, Windows NT

Lotus Notes 4.0 (32bit 版)

SAS/GRAPH サポートデバイス一覧

グラフ出力機器の互換性について

注意：本資料に掲載されていない他のメーカーのグラフィックデバイスでも掲載されているデバイスをエミュレートしているものがあります。エミュレーションのレベルによって SAS/GRAPH ソフトウェアで正しく使用できないものもありますので、ご注意ください。

プリンタ

SAS/GRAPH ソフトウェアは、**Microsoft Windows プリンタ ドライバを用いて任意のプリンタへ出力することが可能です。**この場合、SAS システムの WINPRTM(モノクロプリンタ用)、WINPRTG(グレイスケール出力用)もしくは WINPRTC(カラープリンタ用)ドライバを経由して出力します。

さらに、一部のプリンタについては SAS システム独自のドライバを用意しています。つぎに、SAS システム独自のドライバを用意しているプリンタの一部を記載します。

CalComp ColorMaster, ColorMaster Plus, PlotMaster
Canon Bubble Jet, BJ200, BJC600, BJC800
Canon LaserShot
Digital printer (SIXEL, HP PCL, Tektronix, PostScript エミュレーションモードのいずれかをサポートするもの)
Epson FX and LQ series (および Epson エミュレーションモードで動作するプリンタ)
Hewlett-Packard LaserJet, DeskJet, PaintJet, ThinkJet, DesignJet printer (および HP 互換プリンタ)
IBM Graphics, Proprinter, Colorjet printer
PostScript printer (カラー、グレイスケール Postscript printer を含む)
QMS Colorgrafix (CGM インタープリタ使用)
QMS 800, 1200, 1500, 2200, 2400 (QUIC または Tektronix エミュレーションモード使用)
Talaris 800, 802, 1200, 1500, 2400 (QUIC または Tektronix エミュレーションモード使用)
Talaris Printers (EXCL 言語使用)
Tektronix Phaser printer (全モデル)
Tektronix 4695, 4696, 4697 (ColorQuick)
Tektronix 4692, 4693 Printers (Tektronix 4510 Rasterizer 使用)
Xerox 2700 and 4045 (GRAPHX カートリッジ使用)
Xerox 3700 (イメージボードと最低 1MB のメモリ使用)
Xerox 4213, 4235, 4700
Xerox 5775 カラーコピー (EFI Fiery 使用)

上記リストに掲載されていないプリンタにつきましては、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

プロッタ

SAS/GRAPH ソフトウェアは、Microsoft Windows プロッタ ドライバを用いて任意のプロッタへ出力することが可能です。この場合、SAS システムの WINPLOT ドライバを経由して出力します。

さらに、つぎのプロッタについては SAS システム独自のドライバを用意しています。

HP-GL または HP-GL/2 言語をサポートする Hewlett-Packard 製プロッタ
HP-GL または HP-GL/2 互換プロッタ
DMPL 言語をサポートする Houston Instruments 製プロッタ
GML 言語をサポートする ZETA 製プロッタ

フィルムレコーダ

SAS/GRAPH ソフトウェアは、Microsoft Windows フィルムレコーダ ドライバを用いて任意のフィルムレコーダへ出力することが可能です。この場合、SAS システムの WINPRTC ドライバを経由して出力します。

さらに、つぎのフィルムレコーダについては SAS システム独自のドライバを用意しています。

General Parametrics Videoshow display system
Genigraphics Masterpiece Camera System with SCODL Interface
Lasergraphics MPS 2000 film recorder with a Lasergraphics UI-100 or RASCOL rasterizer
Matrix QCR and PCR cameras with Matrix QVP, MVP, or Lasergraphics rasterizers
Polaroid Palette CI-3000 and CI-5000
Presentation Technologies Montage film recorder

他のグラフィックソフトウェアとのインタフェース

SAS/GRAPH ソフトウェアには、バイナリーもしくはクリアーテキスト形式のコンピュータグラフィックメタファイル (CGM) を作成するドライバが含まれています。これによって SAS/GRAPH のアウトプットを Word for Windows や WordPerfect for Windows、Harvard Graphics、Lotus Freelance のような CGM 形式のファイル入力をサポートしているソフトウェアに読み込むことができます。

また、HP-GL (ヒューレット・パカード グラフィック言語) 形式のファイルへの出力もできますので、HP-GL 形式をサポートしているソフトウェアへもグラフ出力内容を受け渡すことができます。

その他、SAS/GRAPH ソフトウェアでは次のフォーマットのグラフデータを作成することができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- DIB - Device Independent Bitmap
- EPSI - Encapsulated PostScript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- PBM - Portable Bitmap
- PS - PostScript Bitmap
- TIFF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format
- JPEG - Joint Photographic Experts Group Format

また、SAS/GRAPH ソフトウェアでは次のフォーマットのグラフを読み込むことができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- CGM - Computer Graphics Metafile
- DIB - Device Independent Bitmap

- ・ EPSI - Encapsulated Postscript Interchange
- ・ GIF - Graphics Interchange Format
- ・ PBM - Portable Bitmap
- ・ PCX - PC PaintBrush
- ・ TGA - TARGA format
- ・ TIFF - Tagged Image File Format
- ・ WMF - Microsoft Windows Metafile Format
- ・ XWD - X Window Dump Image
- ・ JPEG - Joint Photographic Experts Group Format

独自デバイスドライバの作成

SAS/GRAPH には、メタグラフィックス ドライバが入っていますので、SAS/GRAPH でサポートしていないデバイス用のデバイスドライバをユーザー自身が作成することが可能です。

これを利用するには、メタグラフィックス ドライバの出力をハードウェアのサポートしているグラフィックコマンドへ変換するプログラムを作成する必要があります。

注意：本資料の内容は改善のため予告なく変更されることがありますのでご注意ください。

SAS6.12 では、ソフトウェア日本語フォント(KANJI, MINCHO, MINCHOE フォント)をサポートしていますので出力機器が日本語サポートをしていなくても日本語を含んだ出力が可能です。

また、Canon LaserShot 等、ハードウェアが日本語フォントを内蔵している機器ではハードウェアフォントもご利用いただけます。

Macintosh メタ・アプリケーション

Macintosh メタ・アプリケーションは Macintosh にインストールして使用するフリープログラムです。SAS/GRAPH のメタグラフィックス・ドライバで作成されたメタファイルは、ホストシステムから Macintosh に転送して、(Macintosh の)画面で見ることができます。画像データは PICT 形式やクリップボードフォーマットで格納可能ですので、他のアプリケーションで使用したり、Apple LaserWriter プリンタで印刷することができます。さらに、画像データを Macintosh クリップボードに保存して、MacDraw や他のパッケージソフトで使用することもできます。

株式会社 SAS インスティテュートジャパン

本社 〒104-0054 東京都中央区勝どき 1-13-1 イヌイビル・カチドキ 8F
T E L : 03-3533-6921 F A X : 03-3533-6927

大阪支店 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 1-4-16 アクア堂島西館 12F
T E L : 06-6345-5700 F A X : 06-6345-5655

九州営業所 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 2-14-1 小倉興産 KMM ビル 3F
T E L : 093-512-5014 F A X : 093-512-5016

テクニカルサポート
T E L : 03-3533-3877 F A X : 03-3533-3781

本文書の内容は予告なく変更されることがあります。

SAS および米国 SAS Institute Inc.の他のすべてのプロダクト名、サービス名は米国 SAS Institute Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他本文中で使用しているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。